

第22回 玉福まつり



青森ワークキャンパスの皆さんと
せんべい汁

魅惑のフラダンスショー



アクセサリーはいかがですか

今年のテーマ
みんなあつまれ 笑顔と笑顔が
出会う場所

今年のテーマ!!

当日は利用者、保護者、ボランティア、職員、合わせて100名近くの運営スタッフのほか、230人を超える

笑顔がいっぱい見られました。

10月4日(土)、大型台風18号に追いかけられながらも、無事恒例の玉福まつりが開催されました。

地域の皆さんにご協力いただき、

二子玉川駅やその周辺にポスターを貼り出しました。地元商店街からの出店もありました。また、今年度から区内障害者施設が立ち上げた自主生産品の共通ブランド『世田谷セレ部』の会も応援に駆けつけて下さり、いつもの模擬店に加え、新しい商品が並び賑わいをみせました。もちろん例年B1グランプリのせんべい汁を振る舞って下さる『青森ワークキャンパス』からも理事長以下職員が参加して下さいました。ステージではマジックショーや腹話術、フラダンスショーも開催され、利用者の



まつりの後のお疲れさま会

来客者があり大盛況で終えることができました。作業所を卒業したみなさんや、久しぶりにお会いするボランティアさん。懐かしい顔がたくさん集まりお互いの近況を確認し、また1年後まつりで出会うことを約束しました。

ご協力下さったみなさん、当日来所いただいたみなさん、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

職員の声

福利厚生 —ラフティング体験—

幹事
片桐 恵子



法人の福利厚生の一環としてラフティングを企画し、9月23日群馬県水上に出かけてきました。今回は、特別養護老人ホーム博水の郷、用賀あんしんすこやかセンター職員あわせて7名で、一般のバスツアーに参加しました。内容は、『ラフティング・バーベキュー・温泉』です。全員初めてのラフティングで緊張した面持ちで始まりましたが、チーム一丸となって力を合わせなければボートが転覆してしまうので、み



新装オープン「タガヤセ大蔵」

「タガヤセ大蔵」開設と地域貢献モデル

全国で空き家・空き室の有効活用に関心が集まっています。縁あって、地主の安藤勝信さん、建築士の天野美紀さんと当法人の三者でプロジェクトチームを組み、古い木造アパートの一階部分を大規模に改造しました。ご利用者をはじめ、ボランティアや近所のみなさんが自然につながり合える地域の居場所として、多世代交流拠点「タガヤセ大蔵」を立ち上げました。

「タガヤセ大蔵」には二つの機能があります。一つ目は定員10名の小規模デイサービスです。特徴は、昼食をみんなで作って食べることです。材料は地主の畑で新鮮な野菜を収穫します。オープン初日に、茄子を収穫して、料理に使いました。採れたての野菜はともみずみずしく香りもよく、「おいしかった!」と、ご利用者に大好評でした。畑で土の匂いをかき、作物に触れていたことで、心身の活性化を目指します。二つ目はフリースペースを活用した多世代交流スペースです。ボランティアによる陶芸教室を開く予定です。また、気軽に立ち寄れる福祉の相談窓口になればと考えています。今後は、認知症カフェの開催や町会等にも活用していたければ幸いです。さまざまな思いが詰まった「タガヤセ大蔵」が、地域貢献活動として地域に根ざしていくことを願っています。



広々とした畑は気分爽快!!



ネギの収穫中!!



リーフレット

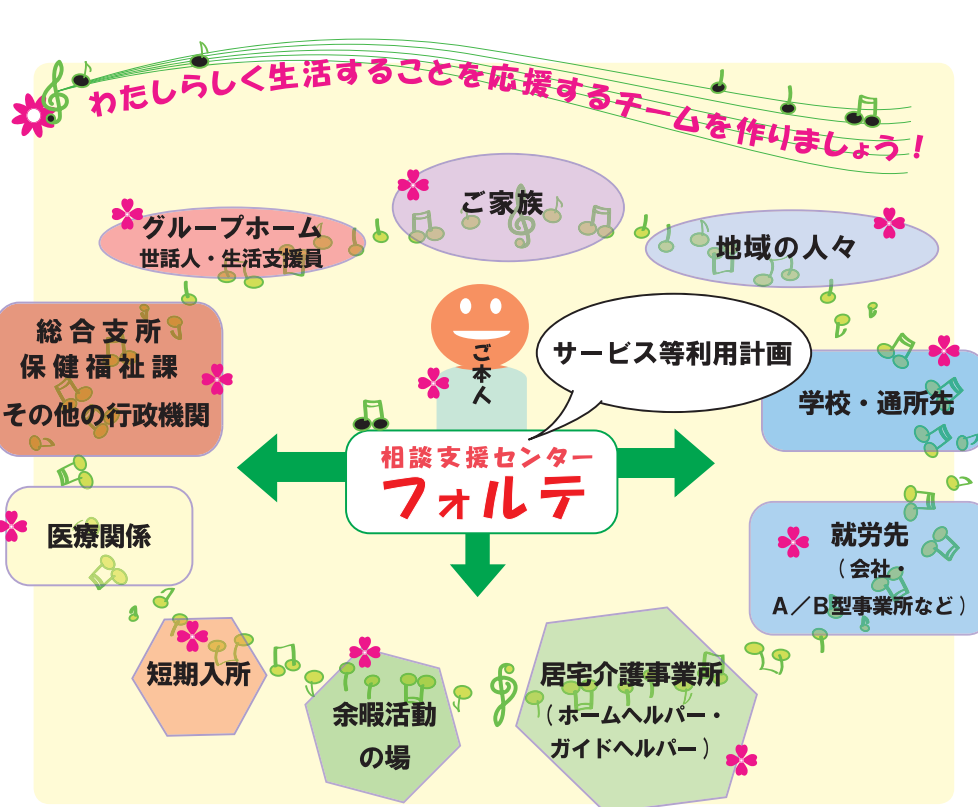
レポート1

ボランティア紹介 博水の郷編



博水の郷で衣類修繕や利用者傾聴のボランティア活動をしている三浦えつ子さんを紹介します。三浦さんのお母様は博水の郷のご利用者でした。ご家族として面会に来られていた時、職員の働く姿を見て、「将来、博水の郷のために何かお手伝いをして、皆さんの力になりたい。」と考えていたそうです。これがボランティアを始めるきっかけになったそうです。現在、三浦さんには日曜日と火曜日の週2回、活動していただいています。活動内容は、ご利用者のベッドメイキング、衣類修繕・物品の補充などです。ご利用者も三浦さんとお話するのを楽しみにしていて、笑顔あふれる場面が多く見られます。三浦さんは「若いころから入退院が多く、今こうして元気に過ごせていることを、皆さんに感謝しながら過ごしています。」とお話されていました。ボランティア活動以外でも趣味や習い事など、精力的に活動されているそうです。これからも、宜しくお願いします。

心をこめてベッドメイキング



◆場所…玉川福祉作業所2階相談室
◆開所日…毎週火曜日(9時～17時)
◆費用…無料(相談・サービス等利用計画作成の費用負担はありません。)

「相談支援センターフォルテ」スタート!

“フォルテ”はチームづくりを応援します

これまで障害者の福祉サービス支援は、日中活動・暮らしの場・余暇活動において、それぞれの事業所間でネットワークを組み、チームアプローチするケアマネジメントの仕組みが十分機能していませんでした。また一方、平成24年、改正障害者自立支援法施行に基づき、障害福祉サービス等を利用するために、事業所は「サービス等利用計画」が義務付けられました。

相談支援事業所の役割は、利用者の希望に基づき世田谷区保健福祉課と連携して、ご利用者一人ひとりのライフステージを見通した全体の計画を立て、各事業所間の調整を担うこととなります。当法人が開設した「相談支援センターフォルテ」も、世田谷区にお住まいの知的障害のある方(18歳未満の方を除く)およびそのご家族からの相談を受けています。今後は、あんしんすこやかセンターなどと連携し、高齢者と障害者両福祉サービス事業がある『社会福祉法人大三島育徳会』ならではの支援を展開していきます。

レポート2

ボランティア紹介……………玉川福祉作業所編

玉川福祉作業所がこの二子玉川に区立施設作業所として開設したのは、昭和55年12月でした。今回、ご紹介する布さき作業のボランティア、稲葉貞子さんとお母様の後を継いだ豊田佳枝さん(二代目)は、当初から30年以上も作業所を支えて下さっています。

内容は作業所で製作する機織りマットの素材の木綿布を1.5センチ幅のひも状に裂く作業です。作業中には布ぼこりも立ち、何より根気のいる仕事です。おかげさまで、作業所の機織りマットは各販売会、特に世田谷ポロ市では固定客もついている大人気商品になりました。お元気でいつまでも作業所にいらして、笑顔を利用者の皆さんに見せて下さい。



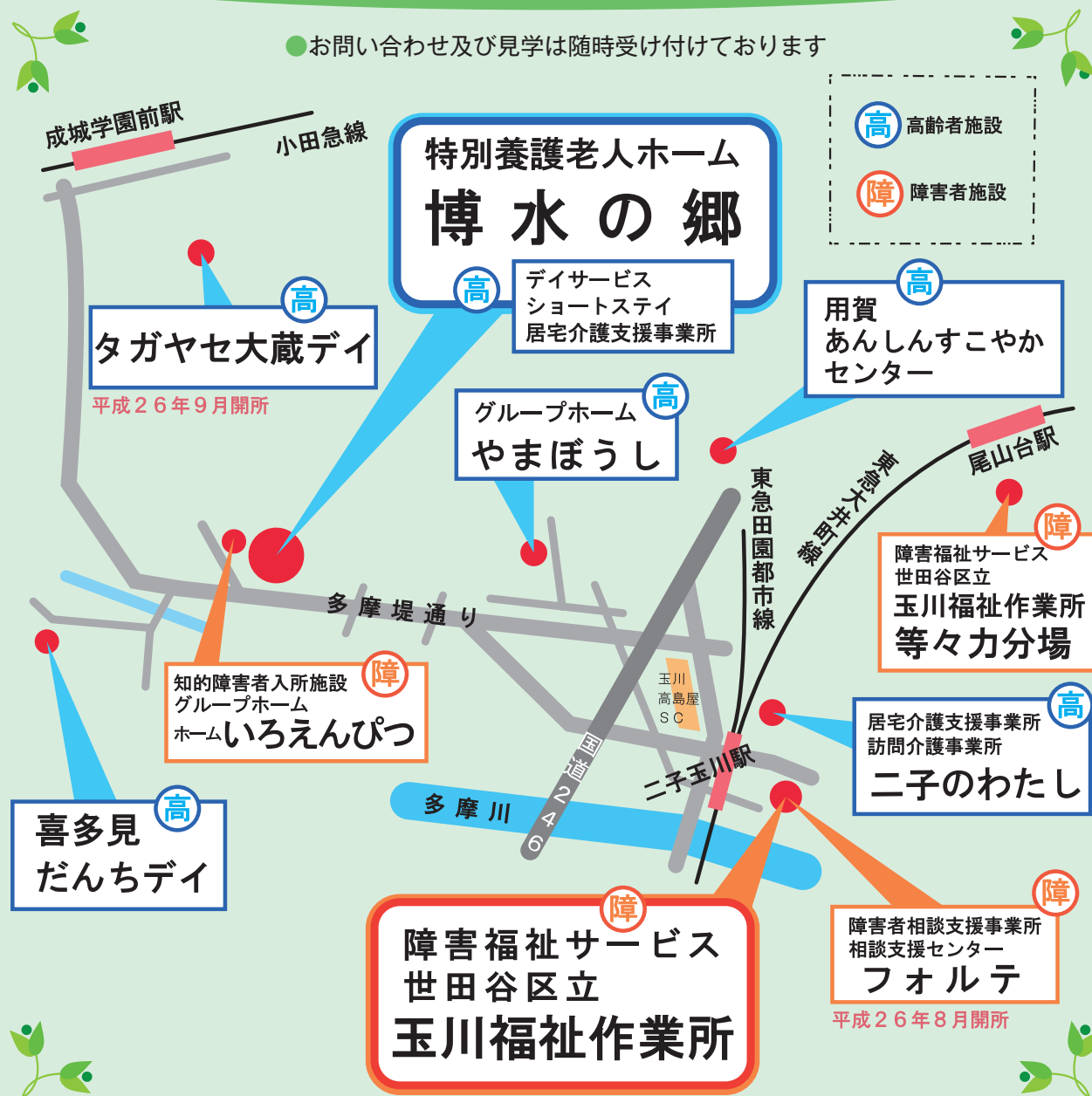
楽しく作業をするボランティアさん

◆グループ施設紹介◆

社会福祉法人 大三島育徳会

地域に根ざした福祉を目指します

●お問い合わせ及び見学は随時受け付けております



せせらぎ 第2号

発行日 2014(平成26)年11月16日
 発行者 せせらぎ広報編集委員会
 発行所 社会福祉法人 大三島育徳会
 〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
 TEL 03-5491-0340
 FAX 03-5491-0343
<http://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」

編集後記

法人広報誌創刊号が皆さまのお手元に届いて間もなく、高齢者支援局が地域の方と連携しながら大蔵地区に新たに「タガヤセ大蔵」を開設しました。また、障害者支援局でも障害者のための「相談支援センター フォルテ」を開始しました。法人としてもっと地域のお役に立てることはないかという思いが背景にあります。今後も顕在化する高齢化問題や地域でできる限り元気に過ごしていただくために、地域のご要望を汲み上げていくことに注力してまいります。法人も『秋晴』に誘われて、これからも「喜多見区民祭り」や「いきいき世田谷文化祭」「せたがや介護の日」など地域イベントに参加していきます。掲載する内容などお気づきの点がございましたらご意見をお寄せ下さい。